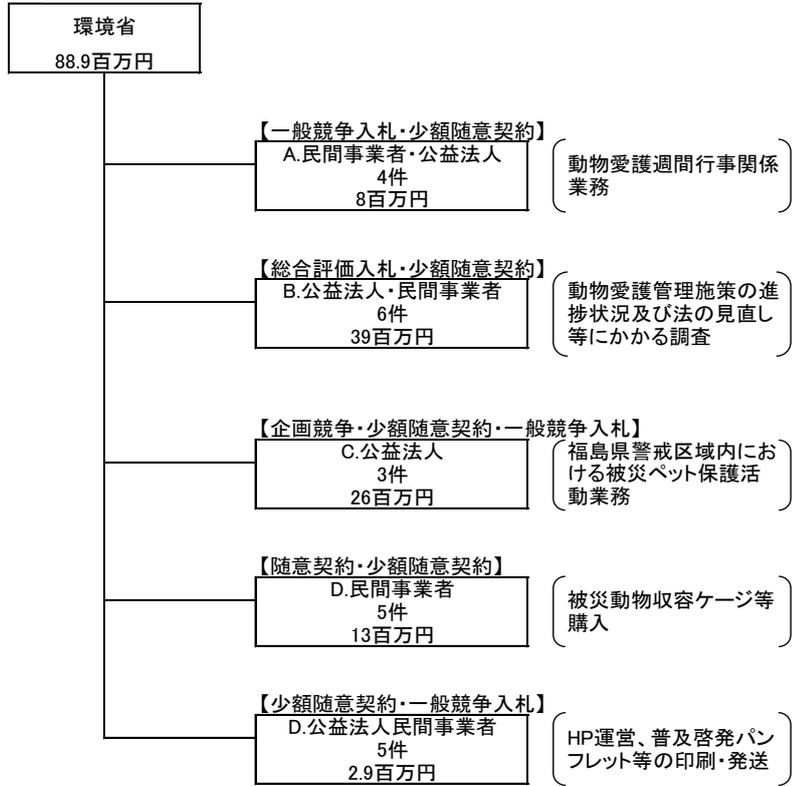


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	動物適正飼養推進・基盤強化事業		担当部署	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	総務課動物愛護管理室	室長 西山理行			
会計区分	一般会計		施策名	5-4 動物の愛護及び管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年10月1日法律第105号)第3, 4, 5条		関係する計画、通知等	動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針(平成18年10月31日環境省告示第140号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	動物愛護週間中央行事や普及啓発ツールの作成等を実施することにより、遺棄虐待の防止、適正な飼養及びマイクロチップ等の個体識別措置の普及に係る国民意識の高揚を図る。また、飼養動物、動物取扱業等の実態等について継続的に調査及び評価を行うことにより、課題の着実な達成と更なる効果的な施策の展開につなげる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	飼養動物及び動物取扱業等の実態等について継続的かつ経年的に実態調査を行う。また、法の見直しにかかる必要な調査を実施するとともに、これらの調査結果等を踏まえ、基本指針の進捗状況等についてフォローアップを行う。動物愛護週間に合わせて、関係団体と連携してテーマに則したシンポジウムや屋外イベントを開催し、飼養者等に適正な飼養管理に関する普及啓発を行うとともに、動物愛護管理功労者表彰等を実施する。ホームページの充実及びポスター等の普及啓発資料の作成・配付を行う。東日本大震災における被災ペット対応として、避難所等における動物の収容スペースを確保するために被災自治体等にケージやテントの配布を行うとともに、福島第一原子力発電所の半径20km圏内(警戒区域)における被災ペットの保護活動を福島県や他の自治体、獣医師等と協力して行った。自治体に引き取られた犬猫の再飼養を支援するため、自治体の収容動物の情報を一元的に集約したデータベースを運用する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	56	67	59	54	98	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	56	67	59	54	98	
	執行額	59	81	89				
執行率(%)	105%	138%	151%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(29年度)	
	自治体における犬及び猫の引取り数の半減		成果実績	千頭	272	249	集計中	209
			達成度	%	77%	84%	-	
	犬及び猫の所有明示の実施率の倍増		成果実績	%	犬54% 猫32%	犬55% 猫37%	犬58% 猫43%	犬66% 猫36%
		達成度	%	犬82% 猫89%	犬83% 猫103%	犬89% 猫119%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	マイクロチップ埋込頭数		活動実績(当初見込み)	万頭	11	12	15	- (-) (-) (-)
単位当たりコスト	本事業は政策課題の検討や普及啓発の実施等を行っており、かつ目標の達成に向けては自治事務となっている自治体が具体的に取り組むものなので、環境省及び自治体の取り組みが相互に成果実績に反映されることから、コストの算出は困難である。		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.88	1.33					
	諸謝金	1.95	1.96					
	環境保全調査費	51.56	94.8					
	計	54.39	98.09					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」において、国及び地方公共団体は関係団体等と連携しながら、動物の愛護及び管理に関する普及啓発や調査研究の推進等を行うこととなっているため、全国的な事業は国が実施すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額な契約以外は、一般競争入札等により競争性を確保した支出先の選定を行っている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」において、平成29年度までに犬及び猫の引取り数の半減及び殺処分率の減少、犬及び猫の所有明示の実施率の倍増を図ることとされているが、普及啓発事業等の着実な実施により、毎年達成度を上げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業では、動物愛護管理施策を総合的に実施し、施策の進捗状況や成果物についてはインターネット等を通じて一般に公開して進めているところである。費用対効果が低いマイクロチップ普及推進事業については見直しを行い、平成24年度要求を縮減した。今後も、動物愛護管理行政を具体的に進めている関係自治体や動物愛護団体等の意見及び中央環境審議会動物愛護部会での議論等も踏まえて、今後の施策の方向性に合致した事業を実施していく。事業の実施にあたっては事業の進捗状況を随時把握し、各事業の中身の効率化を図る。また、動物愛護管理法の改正に伴い政省令、告示、基本指針の改正を行うため、必要な調査の実施と有識者等も交えた検討を進めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的・効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	183	平成23年行政事業レビュー	174

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)オーエムシー			E.(一財)環境情報センター		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	行事運営・表彰式運営等3人	0.4	人件費	コンテンツ作成、更新等1人	0.9
諸謝金	普及啓発資料作成委員会、シンポジウム等講師等	0.5			
旅費	普及啓発作成委員、シンポジウム等講師、表彰式出席者	0.2			
会場費	委員会等	0.2			
借損料	屋外行事用テント	1.5			
消耗品費	賞状、記念品等	0.2			
印刷製本費	普及啓発資料、行事パンフレット、報告書等	0.8			
その他	パンフレット等デザイン費、行事保険等	1.2			
計		5	計		1
B.(財)自然環境研究センター			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	飼養者、自治体、業者向けアンケートの実施、集計、とりまとめ業務等5人	20			
通信運搬費	アンケート送付、返信切手等	1.3			
消耗品費	切手、封筒等	0.1			
印刷製本費	アンケート印刷、報告書等	1.3			
賃金	アンケート発送、集計作業等	2.6			
一般管理費		3.6			
計		28.9	計		0
C.(財)自然環境研究センター			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	検討会事務・調査・捕獲業務等5人	8			
旅費	現地旅費	5			
諸謝金	検討委員謝金6人	0.1			
賃金	被災ペット飼育管理業務3人	1			
借損料	車両代	0.7			
消耗品費	捕獲等物品購入	6			
印刷製本費	検討会資料、報告書	0.3			
一般管理費		3			
計		24.1	計		0
D.(株)愛真ケネル			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	動物収容ケージ	7			
計		7	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	動物愛護週間中央行事の開催	5	9	63%
2	(株)コムラ	動物愛護週間ポスターの作成及び印刷	1.5	少額随意契約	-
3	朝日梱包(株)	動物愛護週間ポスターの梱包及び発送	1	少額随意契約	-
4	(公財)日本動物愛護協会	動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクールの実施	0.4	少額随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	基本指針のフォローアップ調査	29	1	88%
2	(株)オーエムシー	「動物取扱業の適正化について(案)」にかかる公募意見整理業務	6	2	36%
3	(株)オーエムシー	「動物愛護管理のあり方について(案)」等にかかる公募意見整理業務	2	1	70%
4	(社)日本動物園水族館協会	動物園等における鳥インフルエンザ対策の調査	1	少額随意契約	-
5	(一社)全国ペット協会	動物取扱業における夜間販売等の実態調査	0.6	少額随意契約	-
6	個人	米国における動物愛護管理行政の実態調査	0.1	少額随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	福島県警戒区域内の被災ペットの保護及び飼養管理業務	24	企画競争	-
2	(財)自然環境研究センター	福島県警戒区域内の被災ペット保護活動方針検討業務	1	少額随意契約	-
3	(財)自然環境研究センター	福島県警戒区域内における被災ペットの生息状況調査業務	0.6	1	27%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)愛真ケネル	被災動物収容ケージ等購入業務	7	随意契約	-
2	(株)太陽テント	被災動物収容野外テント購入業務	4	随意契約	-
3	ジャベル(株)	犬用輸送ケージ調達業務	1	少額随意契約	-
4	(株)ボンビアルコン	猫用大型ケージ調達業務	0.9	少額随意契約	-
5	(有)犬猫館	犬用大型ケージ調達業務	0.2	少額随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)環境情報センター	動物愛護管理ホームページ整備等業務	0.91	少額随意契約	-
2	(株)オーエムシー	収容動物データ検索サイトに係る運営等業務	0.88	5	-
3	(株)オリエンタル物流	動物愛護管理普及啓発パンフレット梱包発送業務	0.77	少額随意契約	-
4	(株)三州社	動物愛護管理事務提要印刷業務	0.31	少額随意契約	-
5	(株)東南流通	動物愛護管理事務提要梱包発送業務	0.07	少額随意契約	-